



# リコ<sup>TM</sup>の生殖保護活動!<sup>TM</sup> × 木島正

〜ポオモンに優しすぎる少女〜



庇護欲 = 生殖本能



母性爆発!  
ママポオモン!!


ストーリー: 116ページ  
テキストレス: 109ページ



エリアゼロにオレンジアカデミーの生徒たちが侵入してしまった。

好奇心旺盛な思春期だ、わからなくもない。

侵入した生徒の数は6人、男子3人と女子3人だ。  
奇妙なことに帰ってきたのは男子3人だけだった。



彼らはエリアゼロ内で、とあるポケモンに襲われたのだ。  
死ぬ物狂いで、帰ってきた彼らはこう語る  
「スイクンのような化け物」に襲われた…と。

それ以上は語らなかった。いや、語れなかったのだ。  
彼らは心理的なショックを受けていた。

特に、女子生徒の安否に関しては  
彼らが口を紡ぐことは無かった。



ここがエリアゼロ…

見たことのあるようで  
見たことのないような…

そんなポケモンがウヨウヨという

しかもエリアゼロにいるポケモンは  
レベルが高い…要は強い。

きっとこのスーツが無ければ  
今頃はポケモンたちに襲われてただろう。



その名も「メタモンスーツ」  
着用している人間をポケモンと  
誤認させる効果がある。

しかもメタモンとしての効果もあり、  
変身はできないが着用者を仲間と  
思わせることができるのだ。

彼女の名前は「リコ」

ポケモンに対して、人一倍強い愛情を持つ少女。  
優しすぎるリコの庇護欲は、  
繁殖に困っているポケモンに自分を  
抱かせてあげるほどである。

ポケモンとの性交は、人間の体が  
壊れてしまってもおかしくない危険な行為だ。  
それを安全なものにするのが、このスーツだ。



リコの体は歳の割には余りにグラマラスだ。  
ポケモンのレベルで言えば、リコはまだレベル10相当。  
ギリギリ2桁やっと初潮を迎えた程度。

そんな肉体年齢でポケモンとの性生活を送っているせいか、  
あるいは天性の才能か、リコの体はすでに子作りの専門家と  
言っても過言ではないほどに発育していた。

大きく実った母性の象徴、  
バストサイズは130cmを越えている。

もう少しして「B11身長」なってしまう程であるが、  
若さゆえかパツンとハリのある乳房は重力に逆らう。

また、ヒップサイズは120cmを越える。  
肩幅よりも広い骨盤、分厚い尻タブ、  
ムッチリしてガツシリとした太もも。

いわゆる、安産型の臀部だ。

どっしり!!

どっしり!!

こんな、子孫繁栄に特化した体つきだが、  
部分的には歳相応な部位も残っている。

一つは、スーツから透けるピンク色の乳首。  
まだ色素沈着もなく、少女らしい爽やかな桃色だ。  
これでも何度も母乳が出る経験を積んでいる。

もう一つは、ワレメにスーツが食い込んだ性器。  
無毛かつピツチリと閉じた大陰唇は、生殖器と  
呼ぶには頼りない見た目だが、  
数えきれないほどのポケモンをこれで慰めてきた。

とはいえ、縄張り意識が  
強いポケモンは別だけどね…

え…!?

あま…  
あま…

あの洞窟のほうから  
声が聞こえる…!?





ナメナ...

H4

H4

For Eye...  
フー...

H4

H4

...



スイクン…?  
に…似てるけど…  
ちよっと…違う!?

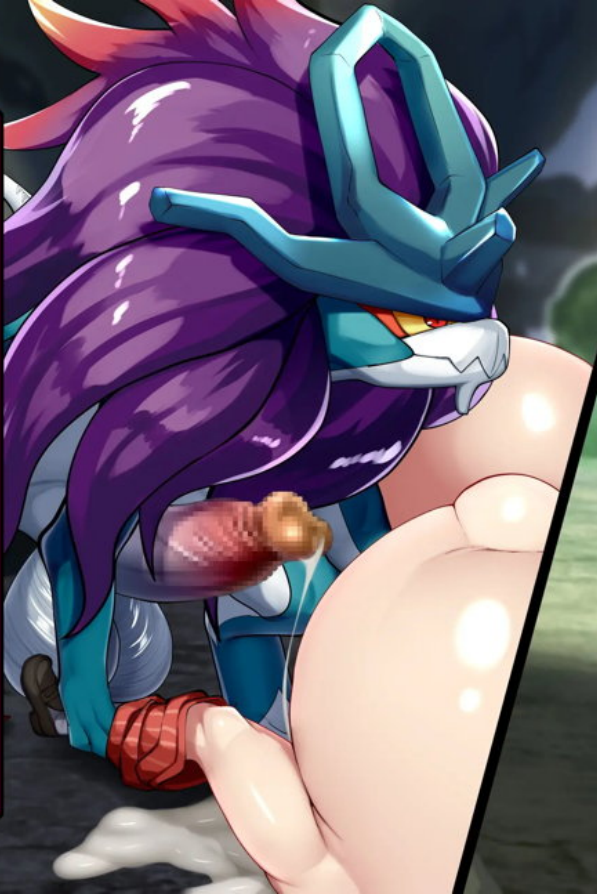
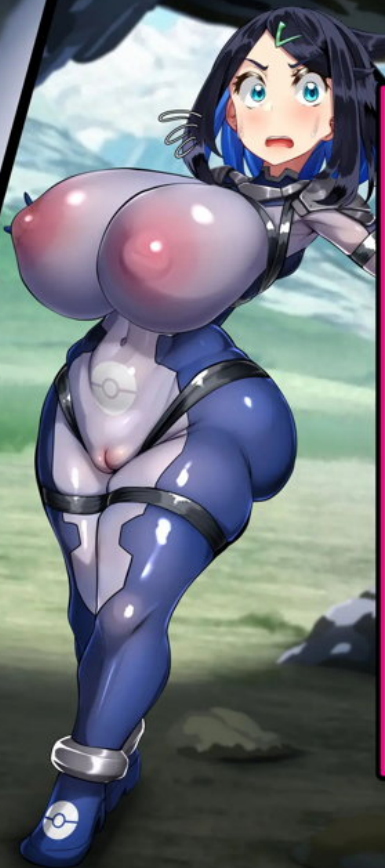
それに…  
このポケモンは…?



こ…これは…!?  
に…人間なの!?

そこにいたのは、スイクンにそっくりなポケモン。

後にウネルミナモと命名されたそのポケモンの  
足元には、アカデミーの女子生徒肌色の球体が転がっていた。



バランスボールぐらいの大きさだった故、  
一見すると何かが何だかわからなかったが、  
よく見れば頭と手足が付いており、  
それが元人間であることが分かった。


そう、これは腹を球体状に膨らまされた  
オレンジアカデミーの女子生徒だ。

ウネルミナモの股から生えるソレ。  
雌雄を持つ生物のオスなら生えているモノが  
彼にも付いていた。そうペニス。


それから垂れる体液の系が、  
女子生徒の性器に続いている。

この2人は…いや、  
2匹は繋がっていたのだ。

ウネルミナモは女子生徒を犯し、  
腹がバランスボールほどに  
膨らむまで精液を注ぎ込んだのだと。



私もこうなりたい…と、少女たちを羨ましいと…。  
私の子宮は思ってしまう。



未知の生物に犯される少女たちの  
惨状を目の当たりにした私は、  
女の子として恐怖を覚えるはずだった。

だけど、私の子宮が疼いた。  
生唾を飲むように…。

うん…うん

うん…うん!



それにやっぱりコレを  
持ってきて正解だった!

まごゆお?



な...何を考えてるの...!?  
私はこの子たちを  
救助に来たんだから!



私は小袋を取り出す。

ピッチリとしたパッケージ、その中にはリング状の物体が封入されている。



というか、それはどう見ても避妊具のコンドームだ。





みんなを助けて  
マタニティボール!



お願い!



ギヤサッ?





!? ?

ぎゅお!!?

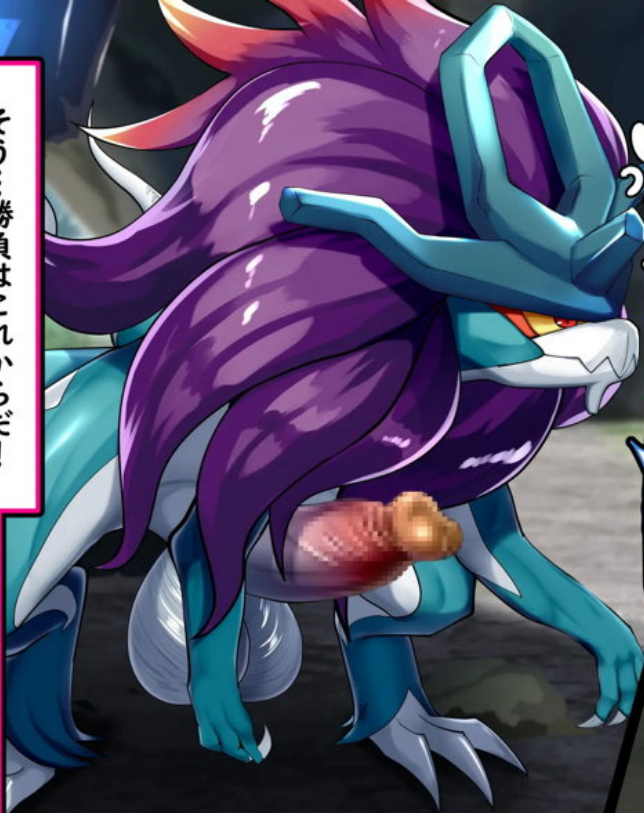
やった!  
うまくいった!

封がされたコンドーム型の何かが光ったかと思えば、女子生徒たちもその光に混ざり合い、次の瞬間には使用済みコンドームのようなものがリコのスーツに括りつけられていた。

これはマタニティボールといい。ポケモンに犯されている者を救助するためには作られたモンスターボールの発展型である。ポケモンに犯された人間は、その快楽のせいで大半が理性を失い自分が人間であったことも忘れてしまう。むしろ自分はポケモンのメスだと認知をゆがめてしまう者も少なくない。

つまり、彼女たちは半分ポケモン化している。だから、モンスターボールと同じ仕組みのマタニティボールで<sup>救出</sup>ゲットできるのである。

ちなみに、捕獲率は彼女らが抱えている精液の量に比例する。



そう…勝負はこれからだ！  
私はウネルミナモの繁殖相手を奪った敵。  
しかも、この洞窟は彼の縄張りに違いないだろう。

グルルルル…！



さあ…！  
むしろ…ここからだね！



うわ  
うわ



じゃ…じゃあ…  
お邪魔しましたあ…








ぐえーっ！


やっぱりこうなる!?



縄張りに入った私を敵と判断し、襲いかかったのではなかった。

この子…発情期なんだ…  
繁殖のために手当たり次第に  
メスを襲ってたんだ…

組み伏せられ、理性では恐怖を感じるが、  
本能では子宮が子作りに備えてしまう。  
こんな状況にもかかわらず、私の体は  
メスとしての機能を果たしたがってしまう。



「お前は俺のメスのメスになれ」と  
言わんばかりのオスっ気に、

私の中のメスの部分が  
応じたくなってしまう…。

このスーツの所為なのかな…？  
この子の気持ちかわかる気がする…

彼はパラドックスポケモン。  
彼らの繁殖方法は判明していない。  
発散できない欲望に狂い、人間のメスですら  
手当たり次第に犯していたのかな…？

けど…私なら…もしかしたら…



私...この子の事も  
助けてあげたい...!

あつ...!



キミの好きにさせて...

キミの好きにさせて...

いいよ...逃げたりしないから  
キミの好きにさせて?

キミの好きにさせて...



2111!



極太なちんぼが膣に無理無理ねじ込まれる。

膣の深さの倍以上は優にあるおちんちんは、  
容易に私の子宮に到達。

「おちんちん……」

「おちんちん……  
おっきい……♡」

瞬間、私のおまんこは反射的に子作りに備え、  
大量の愛液を分泌してしまう。

相手が異種ポケモンなんてことはお構いなした。





あまつさえ、入れられただけで絶頂し、  
全身を痙攣させ悦び表現してしまう。

えへへ…  
イっちゃった♡

それどころか、嬉シヨンのように  
潮を撒き散らし、メスの本能が隠しきれない。

女の子なんだから、こんなことは恥ずべきなんだろう…。  
けど、これでこの子が喜んでくれるなら私はそれでいい。



さっき犯していたメスと変わらない体…いや、むしろ拙いかもしれない生殖器で自分の剛直を優しく抱擁するように包み込んでくれる。

ウネルミナモ意思がリコに伝わるように、リコの意味もウネルミナモに伝わっていた。



犯しているメスが、自分を否定しない。それは、ウネルミナモにとっても初めての経験だった。



おはよう？

おはよう！

キミの気持ち…  
全部…受け止めるから…ね！  
心配しないで…  
君には私がいるから…！

キミ  
キミ



逃げられないように  
私の頭に押し当てられている彼の手。  
彼はこういう一方的なエッチしか知らないんだ。  
だから教えてあげたい、一緒に気持ちよくなるエッチのことを。








彼の腰使いは、野性的でオスっ気に溢れていた。  
己の種を植え付けるため、私の子宮を  
命が芽吹きやすいように耕されてるみたい…。

私の体は応えるように、彼の  
遺伝子を求めてしまう…。





だけども、やっぱりその腰使いは  
一方的で独りよがりだ。



あくまで自分が気持ちよくなり、  
射精するためだけのピストン運動。

まあ、そんなオスっ気に、私のような  
卑しいメスは快感を覚えちゃうんだけど…。

そして、その時はきた——





おちんちんビクビクしてるよ？  
イっちゃいそうなのかな？

出して…良いんだよ♡

っつか出して欲しいっ♡

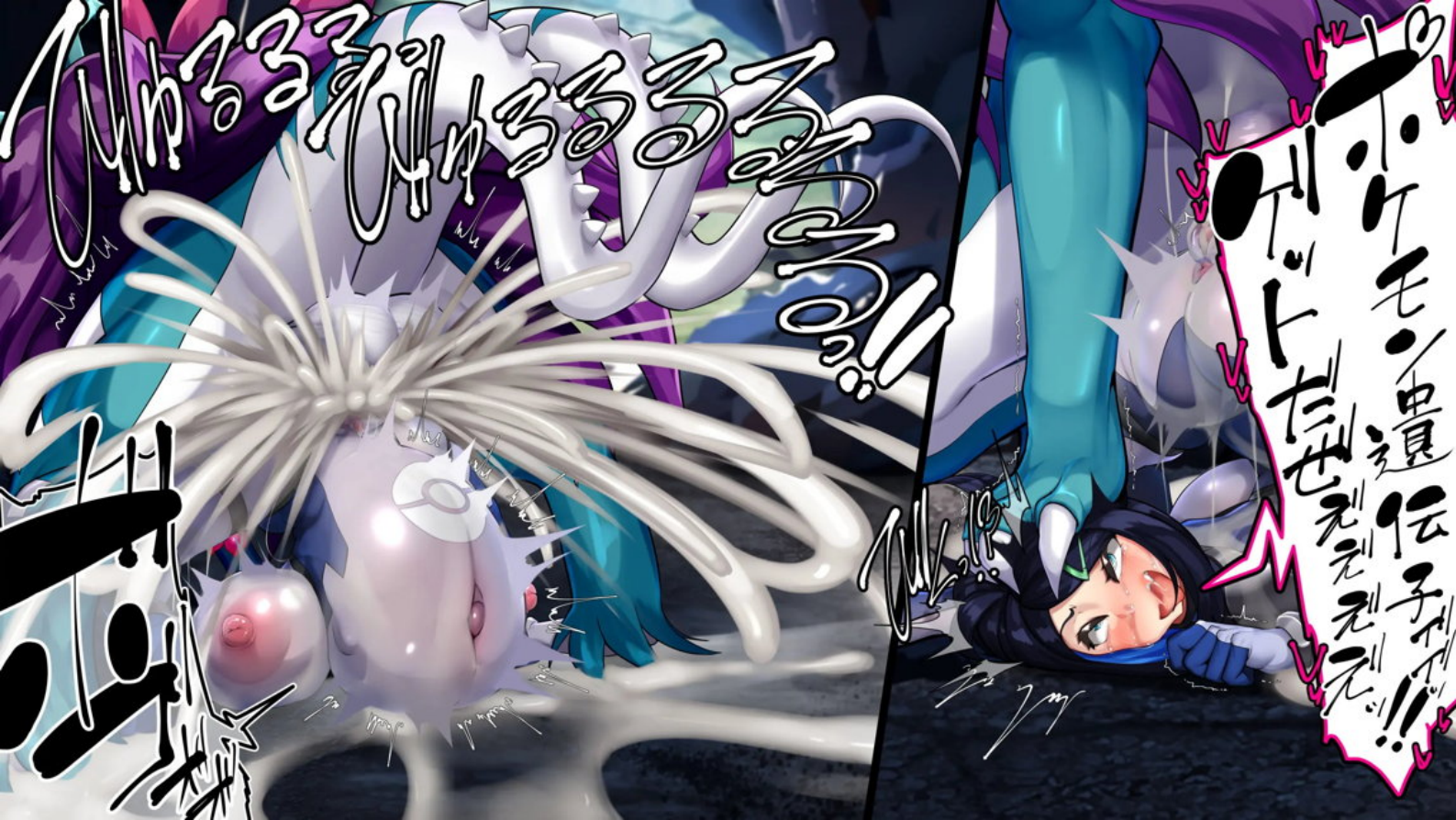
ん…っ♡

Ramon...











お…お…お…  
あ…お…お…  
子宮に効つくうう…ん…♡

Toy



でも…、私のおまんこで気持ちよくなってくれて、  
射精してくれたのが何よりも嬉しい。

なんて節操がない子宮なんだろう…。

きもちええ…♡

女として恐怖と嫌悪を感じる…べき  
なんだろうけど、私の子宮は歓喜に踊る。

未知のポケモンの精液を、  
子宮という女の聖域に流し込まれた。



だから私は、この子の欲望を  
受け入れることを体全体で伝える。

ねえ…？

キミも気持ち  
よかった？

おちんちんを甘やかしちゃう、  
そんな悪い癖があるのはわかってる。

でも、これも母性の一つでしょ。



「何だこのメスは？俺に犯されて悦んでいる？  
そんな困惑をウネルミナモは抱く。」

さっきまで犯していたメスも、  
喘ぐことはあった。

はーん...  
いん...  
いん...  
いん...

はーん...  
いん...  
いん...  
いん...

はーん...  
いん...  
いん...  
いん...

はーん...  
いん...  
いん...  
いん...

はーん...  
いん...  
いん...  
いん...

しかし、このメスは快楽に喘ぐだけでなく、  
心の底から悦んでいる。

そのうえ、自分を否定するような反応が一切ない。  
ウネルミナモは初めての経験に困惑した。



Hot pink

ぬちゅああ

1/28

1/28



Molom...

おっぱい

ぬっ♡ちやあぁ〜


ちゃんと…受け止めるからね♡  
一緒に…気持ちよくなっちゃおう？

んっ♡

まだシ足りない？  
いいよ 全部私にぶつけて♡

お尻





一見、さっきと変わらない独りよがりな腰使い。  
だけど、繋がってる私には違いがわかる。

この子は生まれて初めて  
子作り目的以外で腰を振ってる。  
私の反応が気になるのかな？  
もっと私を悦ばせようとしてくれる？

たろ

おほっ  
おほっ  
おほっ





つてかこの子…  
意図的に私をイかせてくれた？

うっま…♥  
イカされた…♥



私を悦ばせようとして  
気持ちよくしてくれたんだね ♡

嬉しい… ♡

えへへ… ♡  
イカされちゃった… ♡

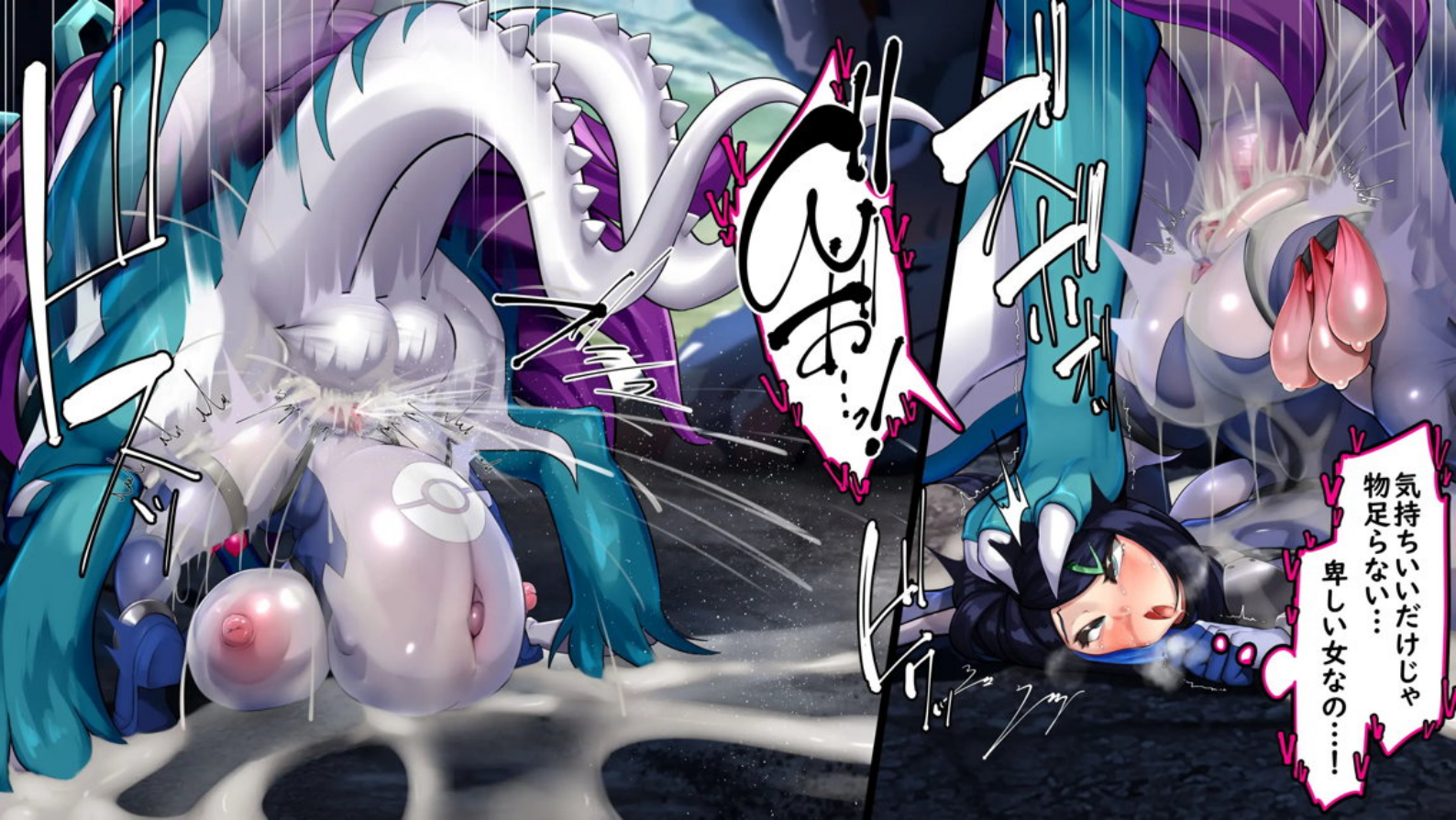




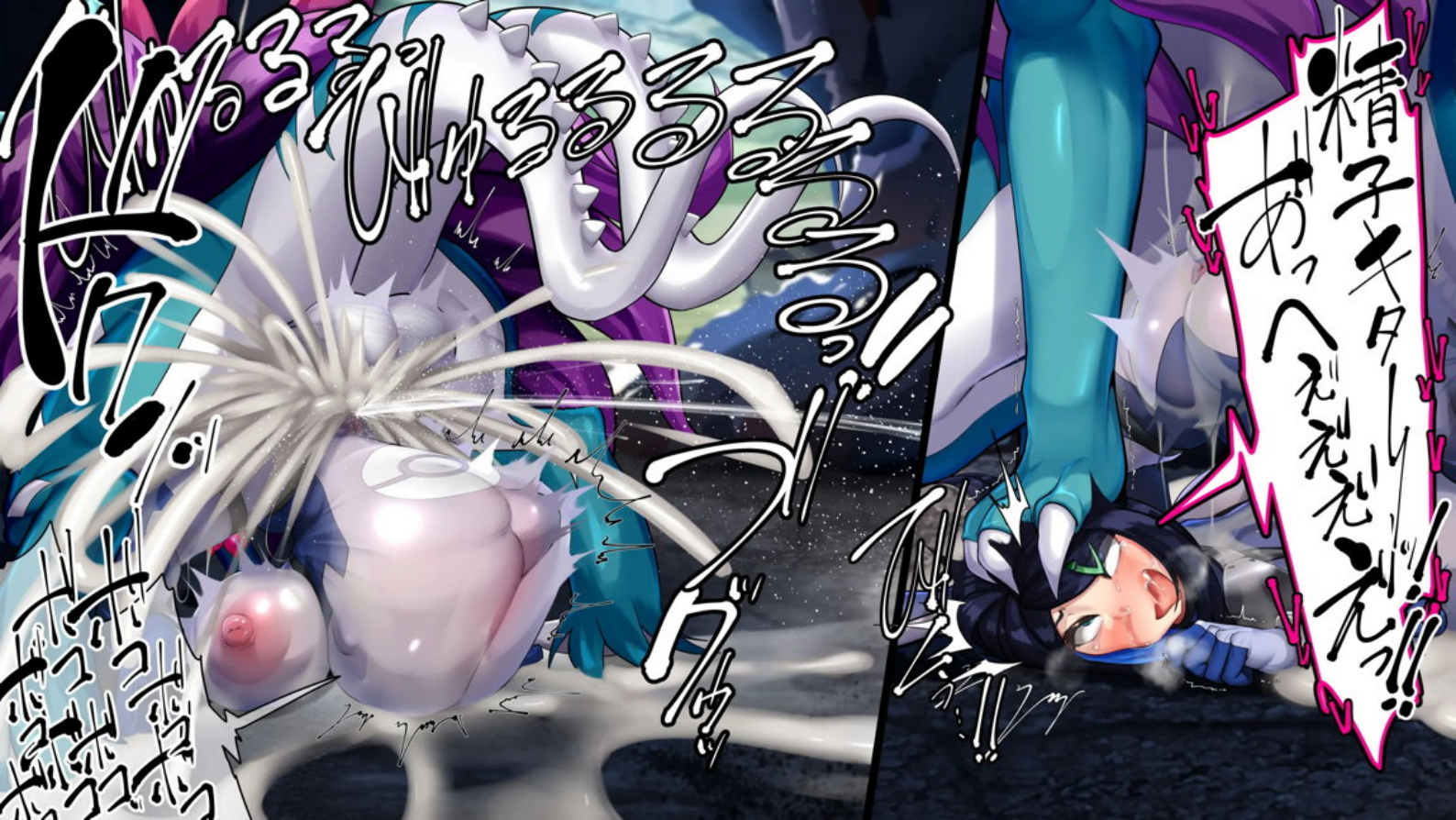
でもごめんね…  
キミが思っている  
以上に私は下品な女なの…



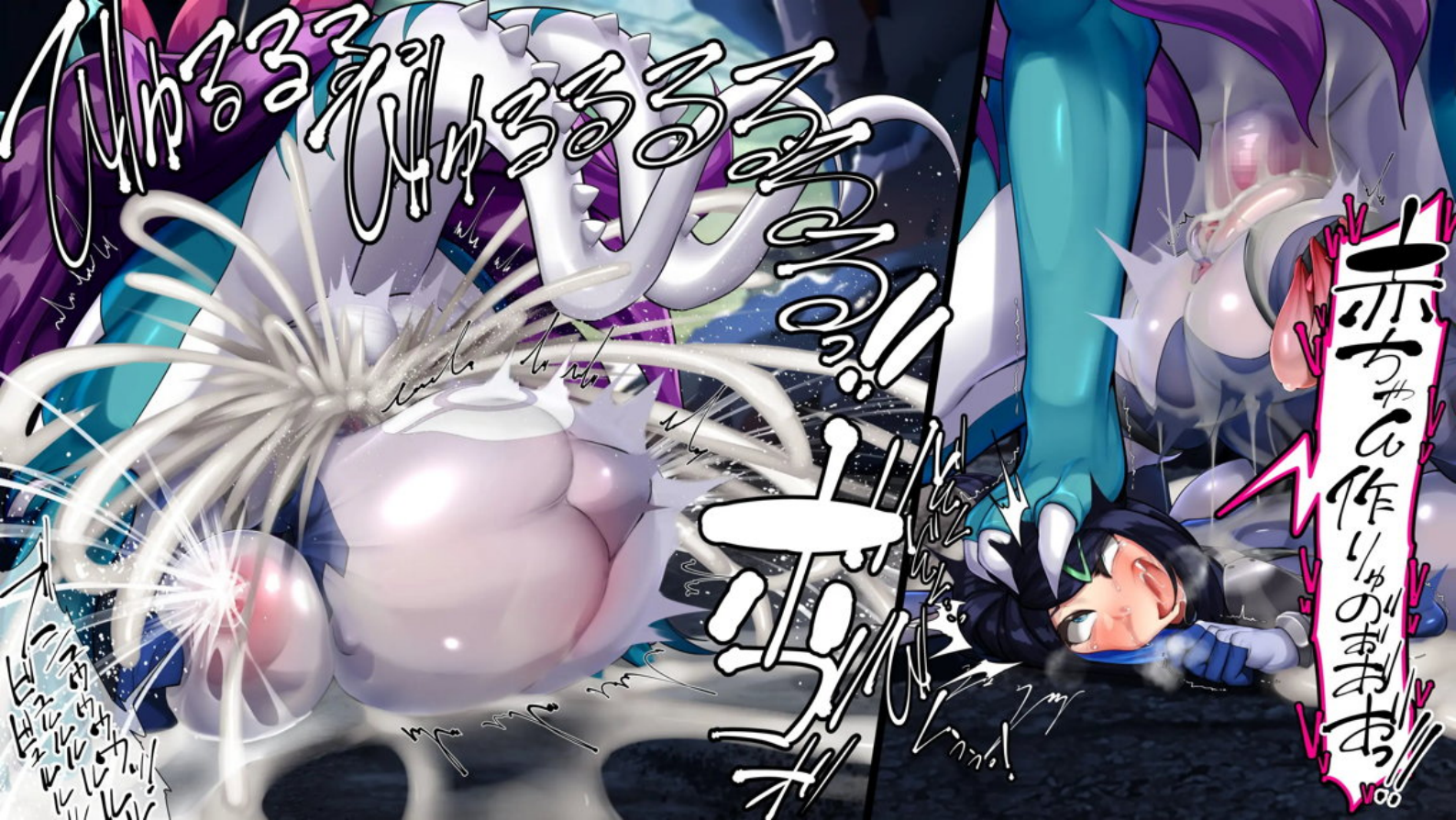
ぬちゅあぁ



気持ちいいだけじゃ  
物足りない…  
卑しい女なの…!!



精子の母しんんんんん!!



おっ!!

おっ!!

おっ!!

赤ちゃん作りのおっ!!

おっ!!



妊娠するううう...♡♡♡  
子宮本気になるううう...♡♡♡

!!  
!!

!!

精液が注ぎ足される。大量の精子が私の卵子を求めて胎内を泳ぎ回る。遺伝子の全く違う、異種の配偶子同士が互いを求める。

私のお腹の中で泳ぎ回る精子ですら愛おしく想えるほど、私の理性はとろけ切っていた。

ウネルミモ  
この子の赤ちゃんを産んであげたい。

私の本能に呼応するように乳房が膨張、大量の母乳が溢れ出る。

や…やべ…  
おっぱい出ちゃった…

おっぱい



ぎゅおお…!?

あこれ…?  
母乳だよ 赤ちゃんを育てる  
ための飲み物っていうのかな?

えへ…  
キミの赤ちゃん欲しすぎて  
先走って出ちゃったんだ…

おぼろ



ん...ん...ん...

ん...ん...ん...

ん...ん...ん...

ん...  
まだ...入る？

ん...ん...ん...

ん...ん...ん...









コレ…本気の腰使い…!  
本気ちんぽだ…!!

もしかして  
私の本心…  
バレちゃった…!?

アレ…!?  
さっきとは全然違う!?

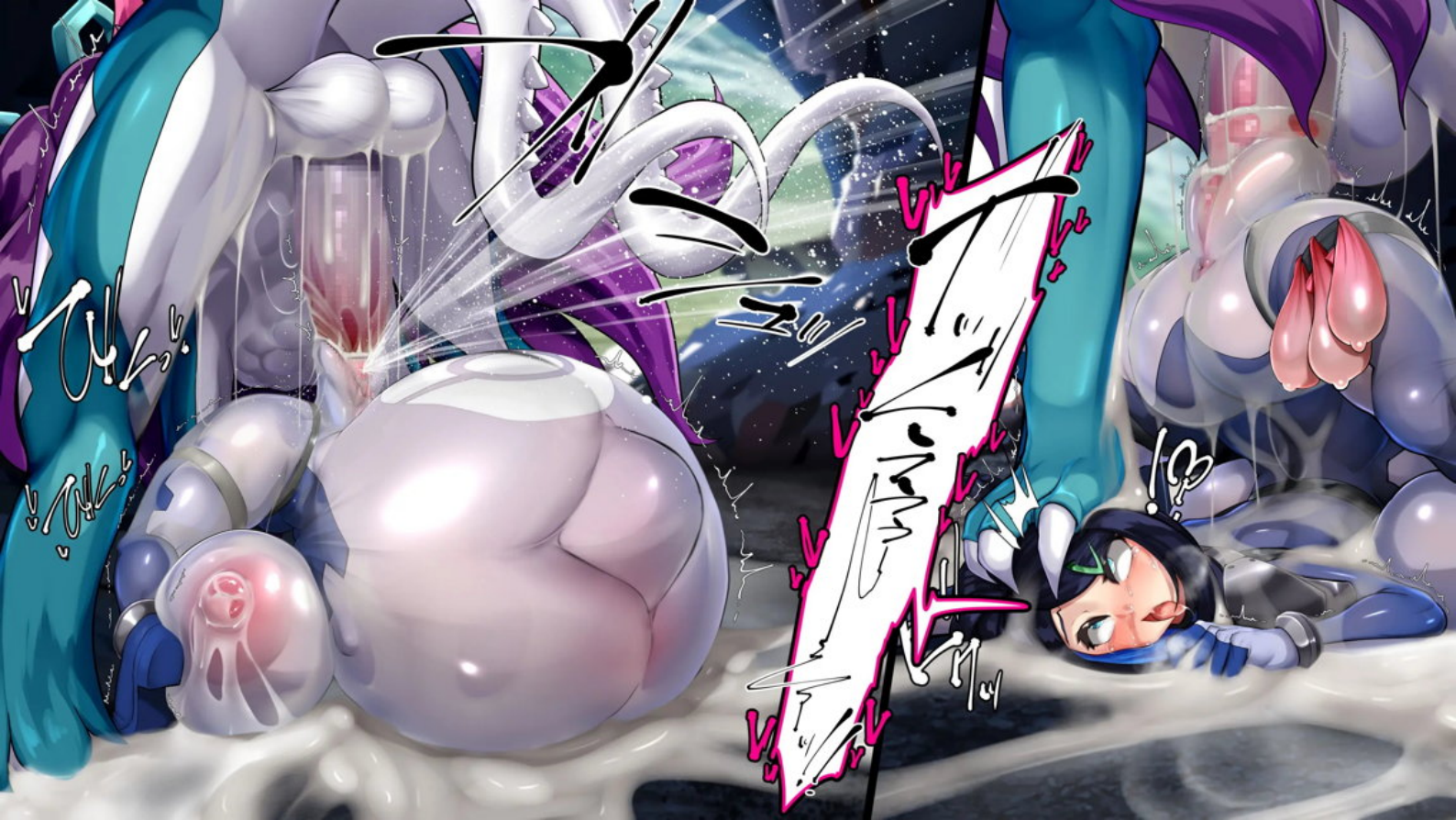
おっ  
おっ  
おっ

おっ  
おっ  
おっ



相思相愛なの…バレちゃう…♥  
出会ってものの数分なのに…



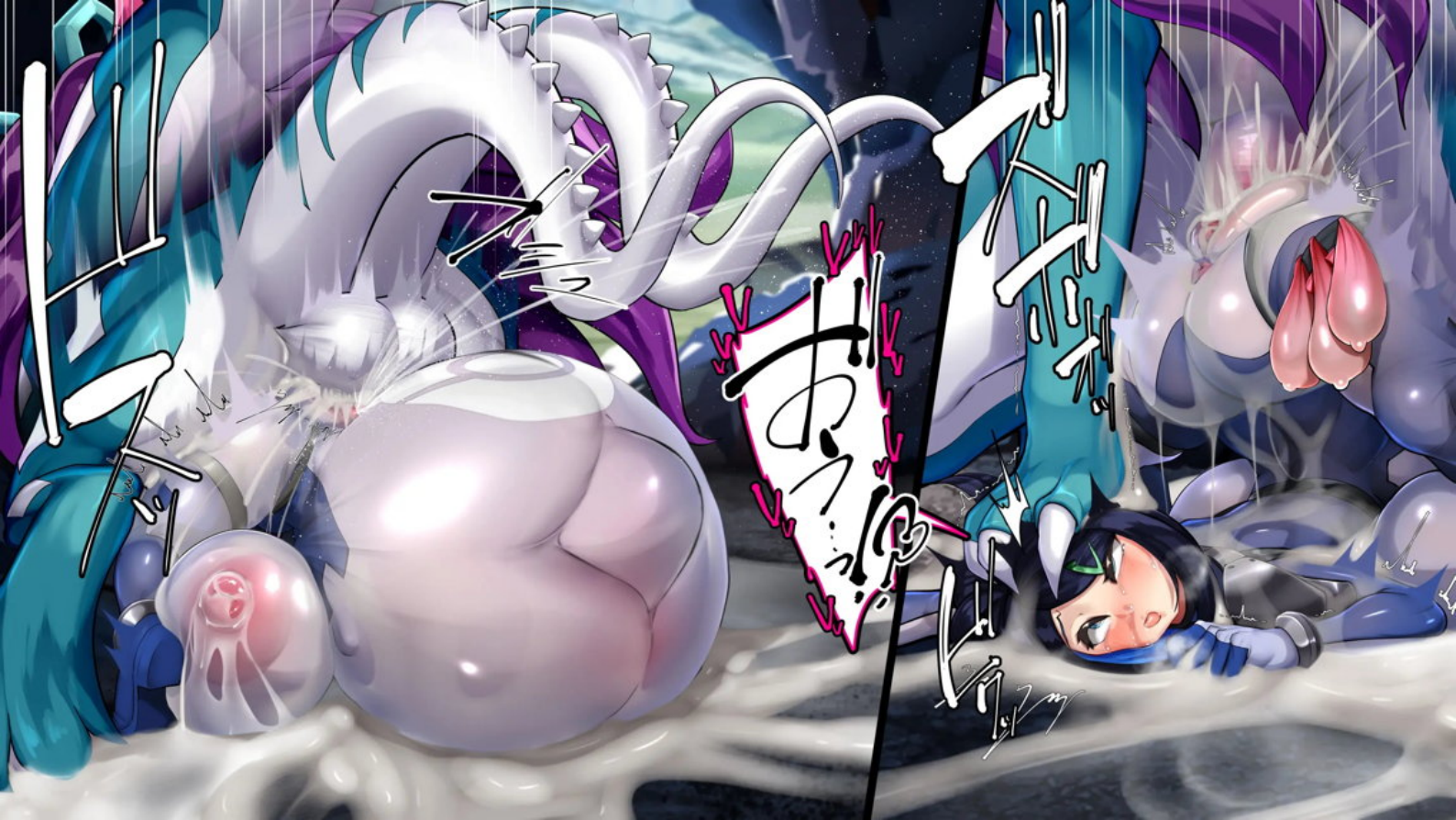




…!?  
射精来る…!

待っへ…  
まだ  
まらイってるから…

…













子宮に遺伝子を刻み込むマーキング。  
「ここは俺の物だ」と言わんばかりの縄張り意識。

子宮を独占するオスつ気に、メロメロになった私は、  
柄でもないメスの本能に満ち満ちた声が自然と出てしまう。

「女の子としてはしたくない」なんて  
考えはとっくの昔になくなっていく。

気を置かず、心の底から  
本音で求め合い、喘ぐ。

野性のポケモンのように。



ぎゅお…

これが本当の交尾…  
両想いの子作りだよ…♡



ぎゅおくん…

うん… もっとシよ♡

ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ



トク...



ぬ...ち...ま...ま...

デキるまで...♡  
ううん デキても  
もっとシたい...♡



交尾中  
おぼろ

おぼろ

おぼろ

おぼろ

おぼろ

おぼろ

おぼろ

おぼろ

おぼろ

おぼろ







互いに最高の  
繁殖相手を見つけたのだ。  
私たちは互いを貪り求める  
ことしか考えられなかった。

子作りを決意した番い。  
子孫繁栄を望むオスとメス。



この子の<sup>性欲</sup>想いを  
受け止める気だったのに...  
逆にこの子に私の<sup>本能</sup>想いを  
受け止めてもらっちゃってるよ...

ぬっ...ちや...あ...?

いっしょに...

いっしょに...



私だって恋する乙女…!!

強いチンポが大好きなんだもん…!!

だって…私 この子のちんぽに…

一目惚れしちゃったんだもん…!!

んっ!!  
ほおっ!!







ヒッ

ヒッ

ヒッヒッヒッ

ヒッヒッヒッ

ヒッヒッヒッ

ヒッヒッヒッ

ヒッヒッヒッ

ヒッヒッヒッ

ヒッヒッヒッ

ヒッヒッヒッ

ヒッヒッヒッ



あはははは

あはははは

あはははは


あはははは

あはははは

あはははは

あはははは





私の性機能の成長は、ポケモンと共にある。

そのせいかな、ポケモンとの交尾で  
反射的に排卵を行う癖もついていた。

生理周期なんて関係ない。  
孕みたいと思った時、私の体は  
既に行動を終えている。

いっばい……  
排卵  
出ちゃった……♡

これ…デキた…♡  
絶対に孕んじやった…♡

私また…ポケモンと子孫繁栄しちやった…♡

きっと、すでに私のお腹の中では、  
私とこの子の遺伝子が結びついているだろう。

人間の少女の卵子が、ポケモンの  
精子と受精し、受精卵となる。

そんな背徳的な現実に、  
私はゾクゾクしてしまう。





ホントはイケない事だっってわかってる…

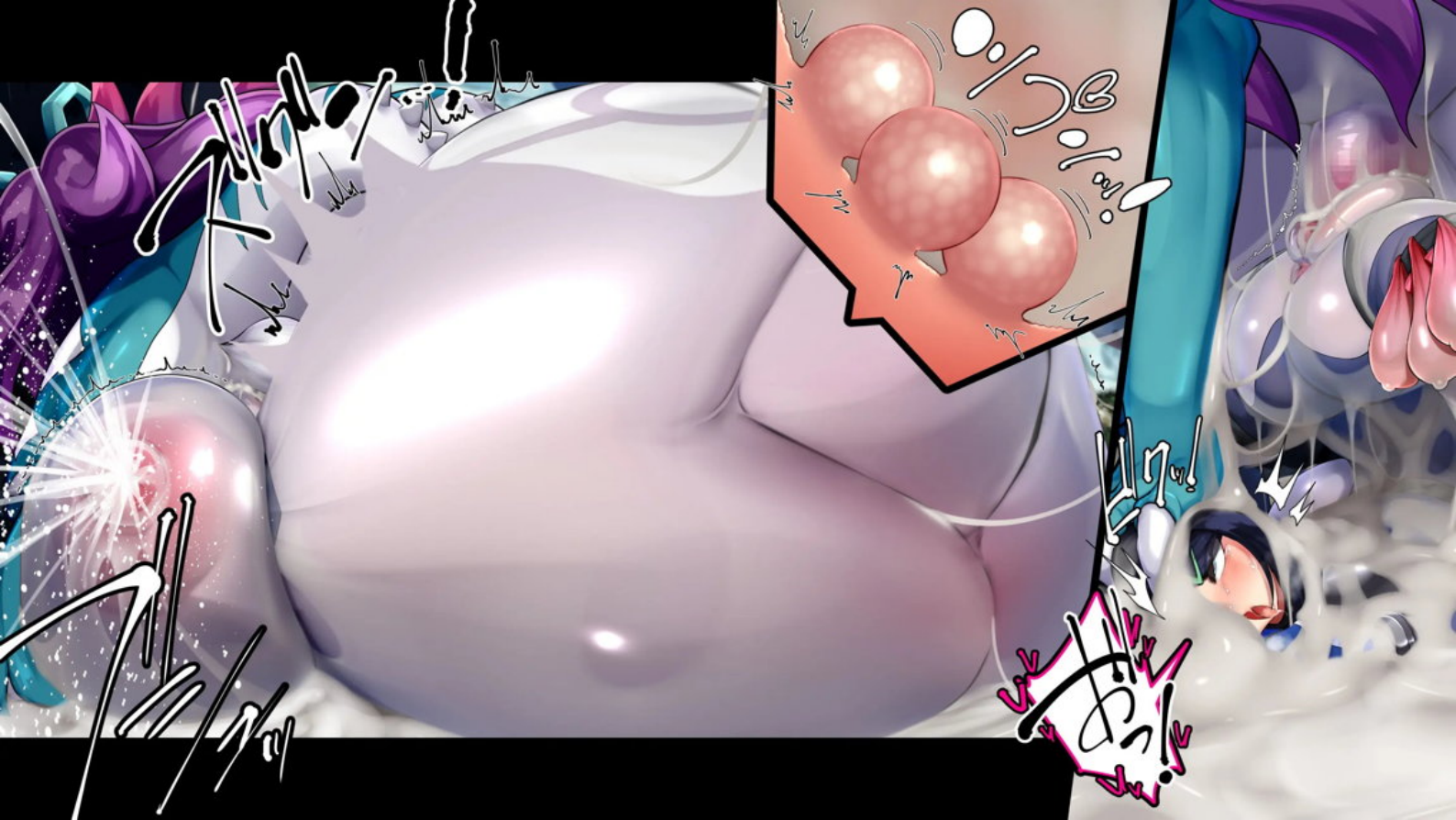
けど…この快感はやめられない…♡

私のお腹の中で生まれた新しい命は、  
生きている証に、早速  
細胞分裂を始めているだろう。



後は…着床さえ  
してくれれば…

3  
ま  
ま  
ま  
…







It's... shaking...

It's... moving...

It's... shaking...

ん...  
♡

もう...  
まだスルの？







番いの契りを交わした雌雄の交尾はまだまだ続く。

歓喜に満ちた本能丸出しのメスの声と、濡れた肉がぶつかり合う音が洞窟内に響き渡る。

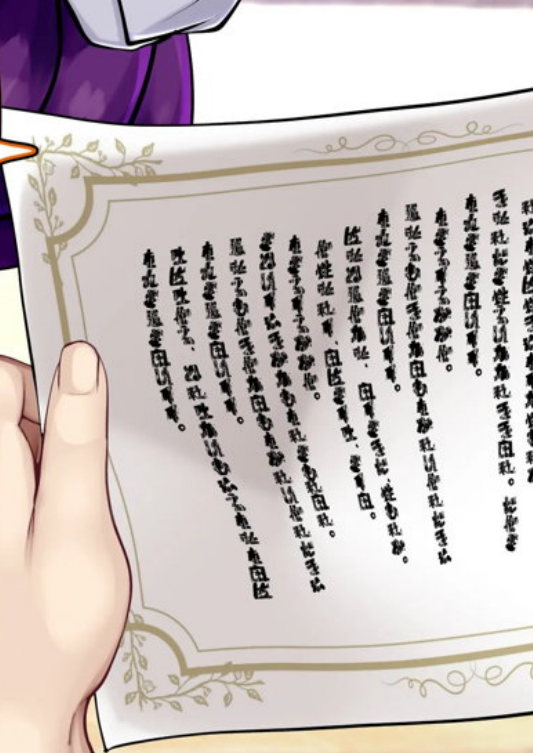


それは三日三晩寝ずに続いたという。



数日後

リコさん  
 あなたの功績を称え  
 なんかかんやら—



おかげで我が校の生徒は無事に保護され、  
リコさん新種のポケモンの発見まで成し遂げました。

その功績を称え、ここに表彰します。  
リコさん、あなたはパルデアの英雄です。

リコさん、あなたはパルデアの英雄です。  
その功績を称え、ここに表彰します。  
リコさん、あなたはパルデアの英雄です。

先日の功績が認められ、  
私は表彰されていた。

誇らしいことだけど、  
早く終わらないかなあ…。



ウズ!!  
ウズ!!  
ウズ!!

ウズ!!  
ウズ!!  
ウズ!!

ウズ!!

ウズ!!



ウズ!!  
ウズ!!  
ウズ!!

ウズ!!  
ウズ!!  
ウズ!!

う...!!  
ヤバ...!?

じわあ...



ウズ!!  
ウズ!!  
ウズ!!

ウズ!!  
ウズ!!

わわ...っ!?

精子こぼれちゃう!

やじろまー



ってなんで  
興奮してるんだ私!

みんなにバレちゃう!



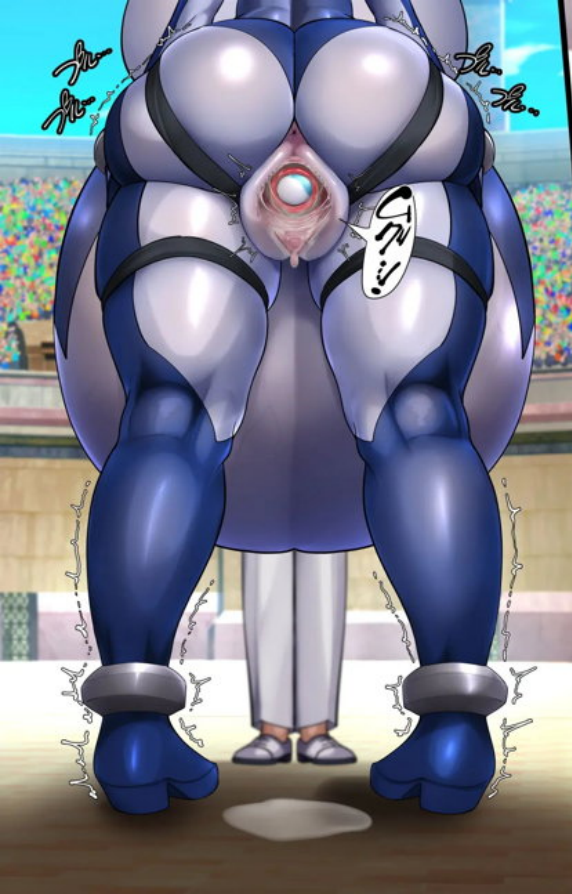
この学園は学園生活を通し、生徒たちに自分だけの宝物を見つかる「宝探し」をモットーとしています。

そして、校長である私にとっては彼らこそが宝なのです。彼らを救ってくれたリコさんは私にとっての英雄でもあります。

ウネルミエ  
ついさっきまでこの子とエッチしてたのバレちゃうよお…っ







ヤ…ヤバイよ…!!  
こんな大勢の  
目の前なのに…!!

突如、おまんこがパツクリと開く。  
何か異物を吐き出すためのように。  
瞬間、私は察してしまった。  
これから良からぬことが起こってしまうと…。

この作品は、作者の創作によるものであり、一切の責任は作者にあります。



な...なんでも  
ありません!  
ふひひ...

え!?

リコさん?  
どうされました?

それと、私から一っ  
お聞きしたい  
ことがあります。

新種のポケモン：「ウネルミナモト」と  
名付けられた彼ですが  
パラドックスポケモンだそうですね

パラドックスポケモンは  
繁殖方法が不明ですが  
リコさんが保護された現場からは  
無数のタマゴが発見されました。

ぎゅお？

ぐんぐん！  
ぐんぐん！  
ぐんぐん！

これは、リコさんは彼の繁殖を  
目にしたということでしょうか？  
ぜひお聞きしたいのですが…

ダメ…もう…  
産んじやいます…♡

え？





おわ...

なんと...まさか...!  
リコさんご本人が...!?

う...産んじやった...

リコちゃんの股の下に  
何か落ちたぞ?

え...? アレ...  
タマゴ...!?

股の間から出てきた  
ように見えたけど...

え...!? つまり...  
産んだってこと...!?





しかも、まだ終わってない。  
私の体が、時と場所を考えてくれるはずがない。



やってしまった。  
そう、私はポケモンのタマゴを産めるのだ。  
しかも、よりにもよってアカデミーの全生徒全教員の前で…  
私は子孫繁栄の瞬間を露わにってしまったのだ。







!!  
びりびり

びりびり

びりびり

びりびり

びりびり

産卵の前の準備ができています。

みんなの前で産卵する準備ができています。

このイラストは、フリーイラストレーター「おしとろ」によって作成されました。



これは何故か、この世界に存在する。それは、  
この世界に存在する。それは、  
この世界に存在する。それは、  
この世界に存在する。それは、  
この世界に存在する。それは、  
この世界に存在する。それは、  
この世界に存在する。それは、  
この世界に存在する。それは、  
この世界に存在する。それは、  
この世界に存在する。それは、

うわあ…産んでるよ…  
つてか複数つて…

エロいのか…凄いのか…  
よくわからねえ…

リコの隣にいる  
ポケモンのタマゴってこと…？

じゃあリコさんって  
ポケモンとエッチしてるのかな…？



恥ずかしい…、こんなのお漏らしだ…。  
しかも…産卵のお漏らし…。  
まあ、産卵も生理現象みたいなモノだし…？

けど、元気に産まれてきてくれたタマゴを見て、  
恥じらいなんて些細なことはどうでもよくなった。  
ちゃんと孵化させて育ててあげないと…！



見てください  
クラベル校長 皆さん

この子達が私にとっての宝物です

私にとっての「宝探し」は  
ポケモンとのエッチなんです♥

**終**

制作・著作  
かわはぎ亭

















































































































































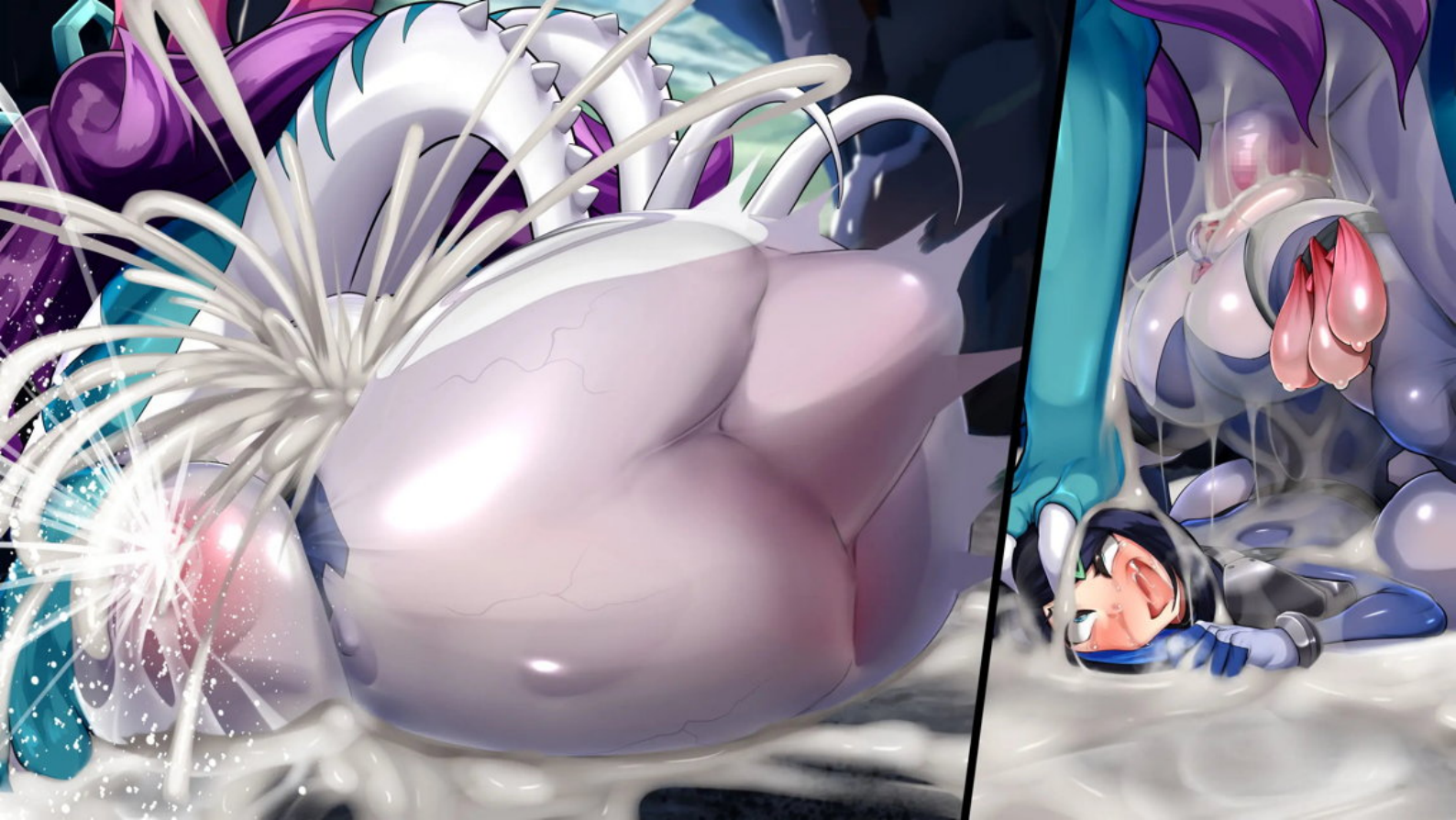














































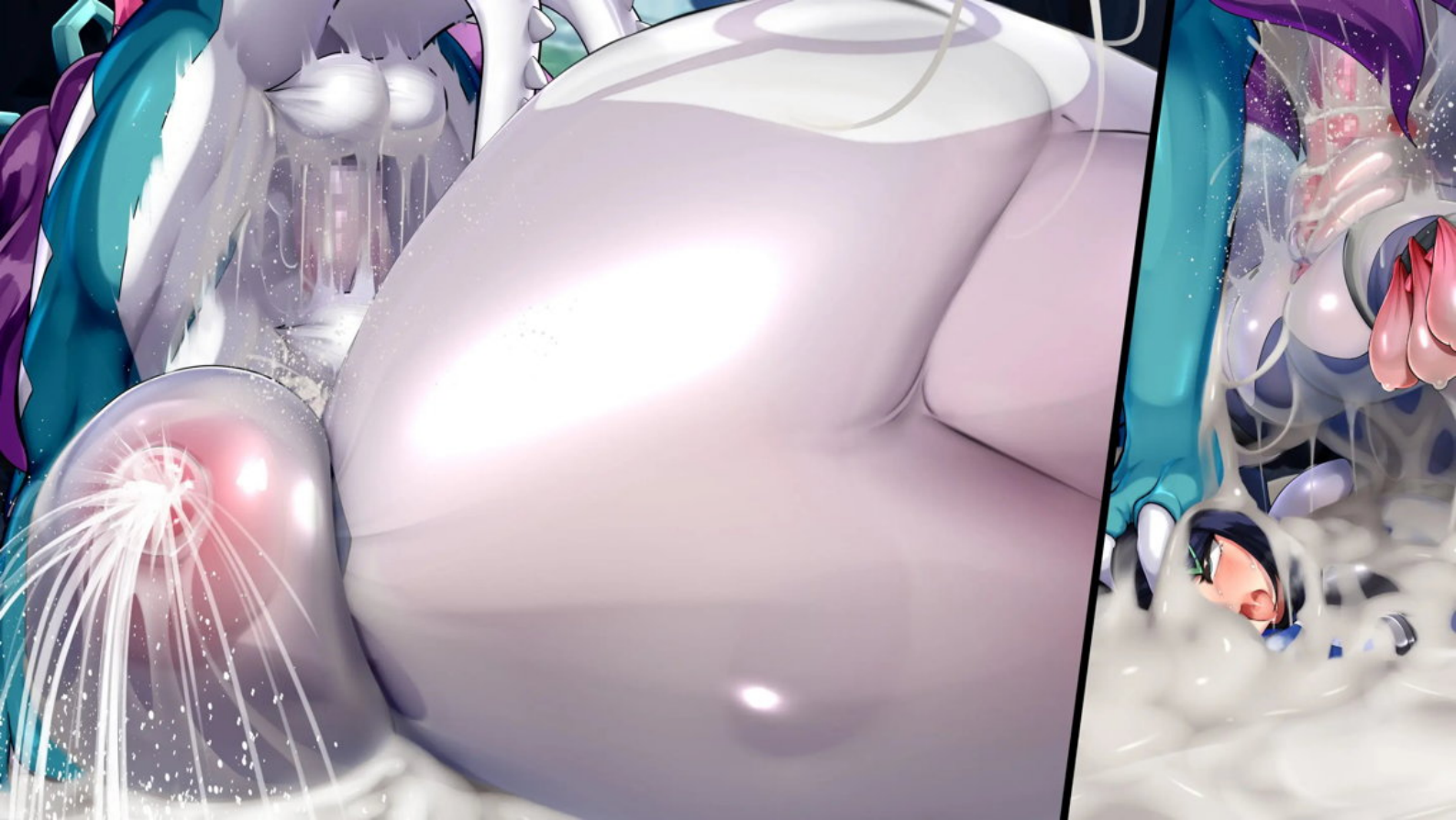


















社私廉性故性至私廉有廉性物社私  
至私社私廉性至私廉有廉性物社私  
廉性至私社私廉性至私廉有廉性物社私  
至私社私廉性至私廉有廉性物社私  
廉性至私社私廉性至私廉有廉性物社私  
至私社私廉性至私廉有廉性物社私  
廉性至私社私廉性至私廉有廉性物社私  
至私社私廉性至私廉有廉性物社私  
廉性至私社私廉性至私廉有廉性物社私  
至私社私廉性至私廉有廉性物社私













